

紀要発刊にあたって

全学共通教育部長 後藤俊夫

中部大学の建学の精神、基本理念等に沿って、従来の教養教育を抜本的に改革した全学共通教育部が平成23年4月に発足し、現在、特徴ある初年次教育やキャリア教育等を導入した新しい教育課程による全学共通教育が行われています。新教育課程は全体として順調に進んでおり、目に見える教育効果も得られつつあります。

一方、全学共通教育関係の教員が教育研究成果等を公表する場の一つである「紀要」は、紀要に対する大学の考え方や動きをある程度見定めてから発足させた方がよいとの判断のもとに、若干時間をかけて、全学共通教育部の関係者で検討を進めてきました。この度、紀要の編集方針、発行形態、編集体制等が固まり、論文募集に対する投稿論文等も揃ったので、全学共通教育部の紀要の第1号を電子版の形で発刊することになりました。

紀要の位置づけや評価は分野によって違いがあるようですが、紀要の教育研究成果の発表の場としての重要性は変わりありません。今回そのような場が作られた訳ですから、全学共通教育関係の教員は優れた教育研究成果を挙げ、積極的に紀要に投稿して、その水準を高めていっていただきたいと思います。

また、一般的に紀要を含む学術論文誌は、論文の水準とともに、継続性が非常に重要です。短期間で紀要の発刊が止まることがあっては意味が無くなってしまいますので、本紀要が長く継続できるように、全学共通教育部の教員を中心とする多くの方々のご協力をお願いする次第です。

全学共通教育部の紀要が今後大きく発展していくことを祈念しています。